

朝日工業の種はベジガーデンで販売中

多くの株主様からお問い合わせいただいております朝日工業の種の購入方法につきましては、当社が運営しておりますインターネットショップのベジガーデンでお求めいただけます。インターネットをご使用されない株主様は以下の電話番号にお問い合わせください。

ベジガーデンでは主に野菜や果物などの旬の食材を販売いたしております。農家から直送しているため安心でおいしいと好評です。この他、朝日工業の園芸用品も取扱いいたしておりますので、ぜひベジガーデンをご利用ください。

<http://www.vege-garden.com/>
TEL 0274-52-2280

朝日工業のホームページからご覧になれます。
<http://www.asahi-kg.co.jp/>

朝日工業株式会社

〒170-0013
東京都豊島区東池袋三丁目23番5号 Daiwa東池袋ビル
TEL : (03)3987-2161 FAX : (03)3987-5326
URL : <http://www.asahi-kg.co.jp/>
Email : asahikg@asahi-kg.co.jp

株主のみなさまへ

株主のみなさまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

朝日工業グループの第24期第3四半期累計期間の決算情報を、お知らせいたします。

主力事業である鉄鋼建設資材事業において、当第3四半期会計期間(2014年10月~12月)では、製鋼工場休止の影響が残ったものの、セグメント利益を計上することができました。また、積極的な営業により受注も増加傾向にあり、回復の兆しが見えてまいりました。

当第3四半期累計期間(2014年4月~12月)の連結業績につきましては、製鋼工場休止の影響により、鉄鋼製品の販売数量が前年同期に比べ減少し、これがグループ全体の売上に影響し減収となりました。一方、損益に関しては、鉄スクラップ価格と製品販売価格の値差が広がり、さらに、コスト削減施策の着実な実行により、鉄鋼建設資材事業の損失額が大幅に縮小したため、連結損失が減少しました。

鉄鋼建設資材事業が回復基調にあり、また、農業資材事業の肥料事業および砕石砕砂事業が需要期を迎えていることを踏まえ、2014年11月5日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はございません。

株主のみなさまには、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

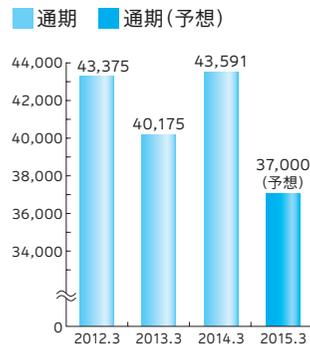
2015年2月
代表取締役社長 赤松 清茂

第24期(2015年3月期)第3四半期累計期間 連結実績・通期連結業績予想について

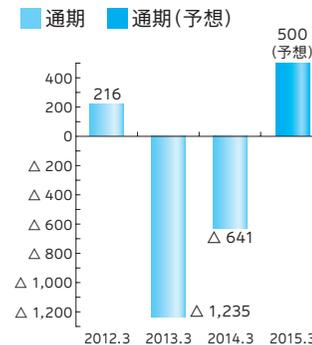
(百万円)

	第3四半期 連結実績	通期業績 (予想)
売上高	24,615	37,000
営業利益	△ 285	550
経常利益	△ 289	500
四半期(当期)純利益	△ 144	600
1株当たり四半期(当期)純利益(円銭)	△ 20.70	85.71

売上高(百万円)



経常利益(百万円)



第24期(2015年3月期)第3四半期連結財政状態

(百万円)

	総資産	純資産	自己資本比率 (%)
2015年3月期 第3四半期	29,409	5,206	17.7
2014年3月期	27,292	5,160	18.9

料金後納
郵便

第24期（2015年3月期）第3四半期累計期間について

鉄鋼建設資材事業

製鋼工場休止により、鋼材生産数量に制約があったため、販売数量が減少し、第1四半期会計期間（4～6月）で大幅な損失を計上しました。しかし、工場の再稼働以降、業績回復を目指して取り組んできた結果、第3四半期会計期間（10～12月）では利益を確保しました。

この間、販売面では、積極的かつきめ細やかな営業活動を推進しましたが、販売数量は、製鋼工場休止の影響から、前年同期と比べ大幅に減少しました。販売価格は、価格の維持および上昇に努めた結果、前年同期と比べ上昇しましたが、販売数量減少の影響が大きく、前年同期と比べ減収となりました。利益面では、鉄スクラップ価格が前年同期を下回ったことにより、販売価格との値差（メタルスプレッド）が広がりました。さらに、製造コストダウン活動を強力に推進したこともあり、前年同期と比べ利益は改善しました。

農業資材事業

主力事業でありまず肥料事業では、エコレットを始めとした有機質肥料の販売拡大に努めましたが、消費税増税前の前倒し出荷の影響が大きく、前年同期と比べ減収減益となりました。

園芸事業では、ホームセンターへの販売が拡大したことから、前年同期と比べ増収となり、利益は改善しました。また、課題であった物流コスト低減については、販売エリア拡大に対応する物流拠点の整備に取り組みました。

種苗事業では、アニモの改良品種や新商品であるカボチャ、キュウリの普及試作を実施しました。

乾牧草事業では、東海地区や九州地区への販売を拡大しました。

環境ソリューション事業

放射能分析は増加しましたが、水質・土壌の分析業務が減少したことから、前年同期と比べ減収となりました。しかし、固定費等の削減に努めたことから、前年同期と比べ増益となりました。

砕石砕砂・マテリアルリサイクル事業

砕石砕砂事業では、販売価格の値上げは進みましたが、工事遅延の影響等から販売数量は減少し、前年同期と比べ減収減益となりました。

セグメント別売上高 および セグメント利益

(百万円)

		2014年3月期 第3四半期実績	2015年3月期 第3四半期実績
セグメント別売上高	鉄鋼建設資材事業	20,180	13,930
	農業資材事業	9,808	8,734
	環境ソリューション事業	540	469
	砕石砕砂・マテリアルリサイクル事業	1,508	1,457
	その他の	185	116
	調整額	△181	△91
計		32,040	24,615
セグメント利益	鉄鋼建設資材事業	△952	△245
	農業資材事業	806	479
	環境ソリューション事業	11	16
	砕石砕砂・マテリアルリサイクル事業	125	105
	その他の	△16	△17
	調整額	△742	△624
計		△767	△285

株主通信 朝日工業だより 2014年12月(第15号)

朝日工業株式会社 証券コード 5456
(JASDAQ)

株主名簿管理人 三井住友信託銀行
連絡先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

●本報告書は2014年12月末時点での株主のみなさまにお送りしています。